笠間市 KASAMA

このまちの夢がきこえる
水戸信用金庫

# まちの編集学校

## まちの余白に、人が集う。

まちには、まだ名前のついていない余白があります。使われなくなった空き家。ふと立ち止まれる路地。誰かの「やってみたい」が、まだ形になっていない場所。その余白に人が集い、語り合い、笑い、手を動かす。偶然の出会いが、誰かの挑戦を後押しし、小さな営みが少しずつ日常になっていく。まちは、建物だけでできているのではありません。人と人との関係が編まれ、物語が重なり、何気ない時間が積み重なることで、その場所だけの風景が育っていきます。まちの編集学校は、まちに眠る余白を見つけ、人と人をつなぎ、新しい物語を編集していく実践の場です。今日の一つの出会いが、数年後には、誰かの居場所になっているかもしれない。そんな未来を、このまちから、一緒につくっていきませんか。

**茨城県**
**笠間市**
**友部駅周辺**

### こんな人におすすめ

- 空き家／店舗を活用して自分のビジネスを始めたい!
- 友部駅前を盛り上げたい!
- すでに事業を行っており、友部駅前でさらに事業の拠点を持ちたい!
- いつか起業するときのために、空き家活用のノウハウを学びたい!
- 空き家を所有して困っているので、まずは地域の人とつながりたい

**若林拓哉** ゲスト



建築家／株式会社ウミネコアーキ代表取締役／関東学院大学・芝浦工業大学非常勤講師。1991年神奈川県横浜市生まれ。2016年芝浦工業大学大学院修了。建築設計を中心に企画・不動産・運営の視点からトータルデザインし、建築の社会的価値を再考する。主なPJに、地域のための食の拠点「新横浜食料品センター」(2025年／SDレビュー2022入選)、香川県・津田町の限界集落に建つ3棟のヴィラ「mimoro」(2023年)、旧郵便局を改修した地域の文化複合拠点「ARUNŌ –Yokohama Shinohara-」(2022年)など。主著に『わたしのコミュニティスペースのつくりかた』(2023年、ユウブックス)、『小商い建築、まちを動かす!』(2022年、ユウブックス)。

**柴田大輔** モデレーター



株式会社Coelacanthまちの編集部プロデューサー。シェアハウスやゲストハウスの運営を経験後、イベントや地域のプロジェクトに関わる。全国の地域活性のプロジェクトに参画し、場の賑わいづくりを支援している。

場を考える

## 空き家の可能性を知る妄想編集会議

住む、働く、集う、遊ぶ。自由な発想で空き家の可能性を妄想し、
これからの活用をみんなで考える編集の時間です。

**2026(土)**
**10.10**
**14:00~17:00**

参加費無料 定員30名

会場
**地域交流センター ともべ「Tomoa」**
笠間市友部駅前1-10
JR常磐線・水戸線 友部駅南口から徒歩2分

お申し込みは こちらから

主催｜笠間市／水戸信用金庫　運営｜株式会社Coelacanth(笠間市より委託を受けて実施)
講座に関するお問い合わせ｜笠間市政策企画部企画政策課 tel.0296-77-1101
株式会社Coelacanth E-mail.info@oarai-coelacanth.com https://coelacanth-oarai.com